

【建設省河川局提供】



常陸川水門付近航空写真

工事中のせき柱下部

常陸川水門工事

本水門工事は霞ヶ浦放水水路計画の一環として計画されたもので、北利根川、常陸川の拡巾、しゅんせつ工事とあわせて利根・常陸との合流点付近に逆流防止水門を設置し、霞ヶ浦洪水水位の低下をはかるとともに、流域一帯の干塩害防止にも役立たせようとするものである。

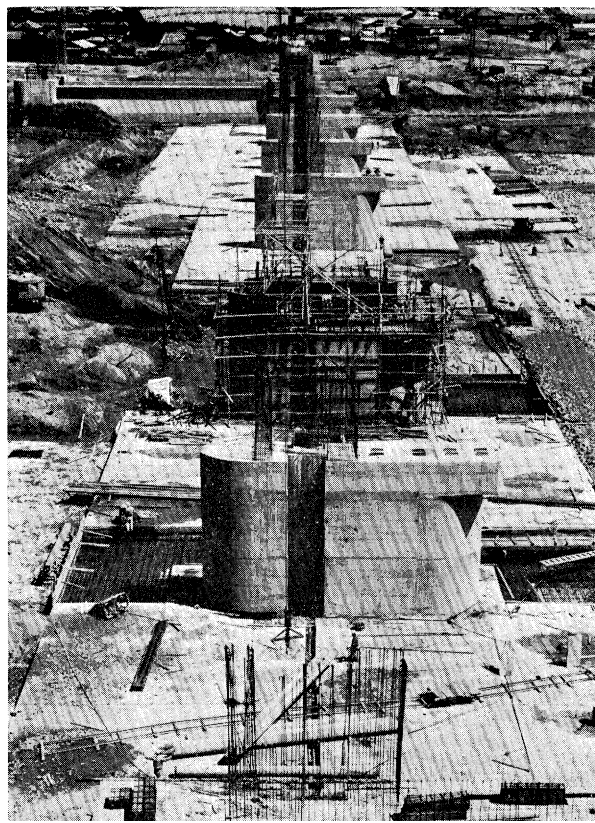
計画高水流量：1000 m³/sec

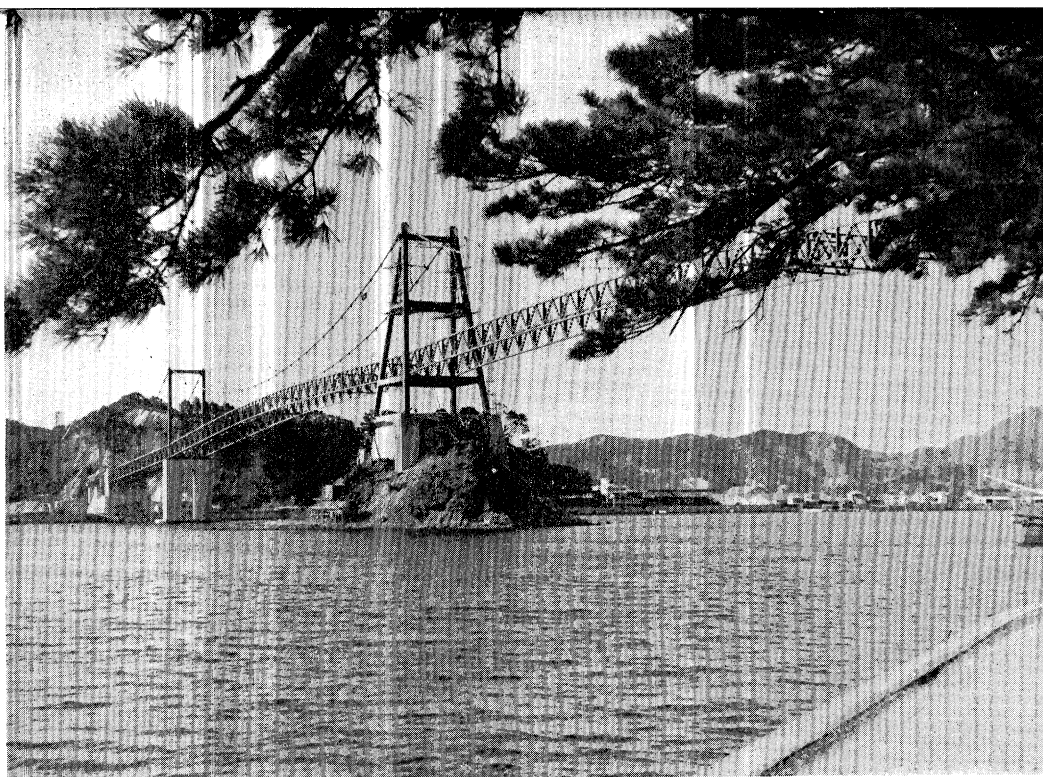
水門基礎：ニューマチックケーソン

” せき柱：鉄筋コンクリート 巾 3.0 m

” 門扉：鋼製引上扉（巾 28.5 m、高さ 6.65 m 8門）

（本文ニュース参照）





補剛構架設中の小鳴門吊橋

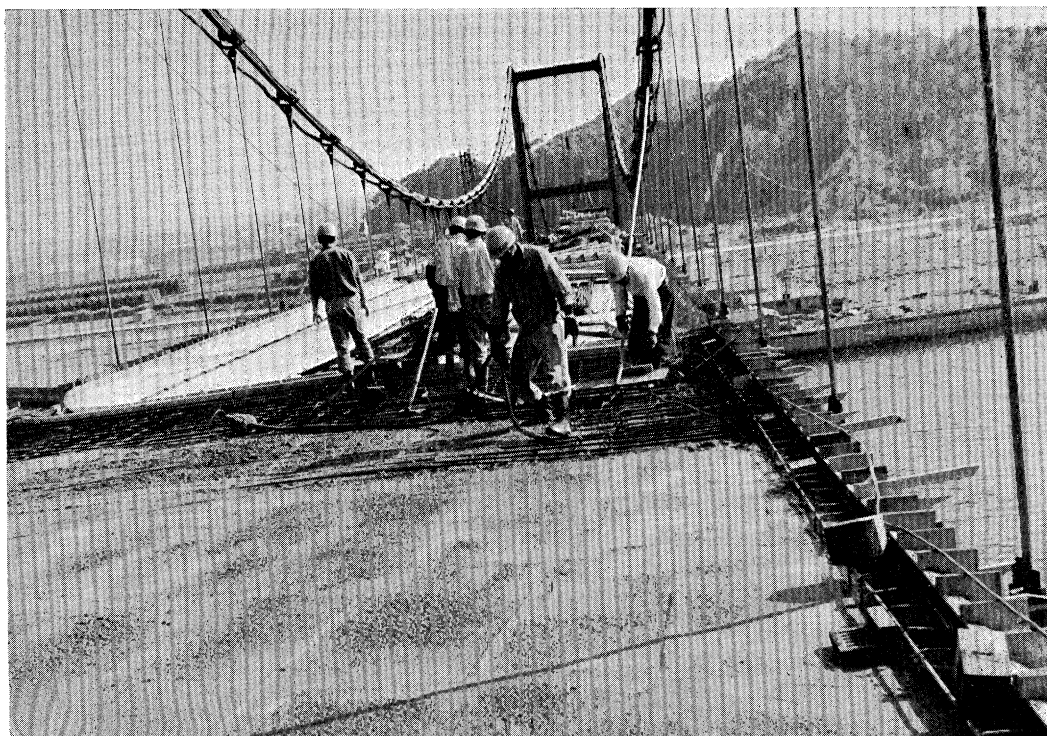
小鳴門橋架設工事進む

国立公園鳴門の主要部を占める大毛島を、東海岸沿いに名勝「鳴門のうず潮」の観賞地に達する主要地方道鳴門公園線の小鳴門海峡に架設された小鳴門橋（有料）は8月1日の開通式を目標に着々と工事を急いでいる。

（本文ニュース参照）

事業主体：徳島県
橋長：441.4m (70.6+160.0+160.0+50.8m)
巾員：7.0m
橋格：一等橋
総工費：308,000,000円 (99,700円/m²)
施工業者：上部工 松尾橋梁KK 下部工 KK銭高組

【松尾橋梁株式会社提供】



床版コンクリート打設作業